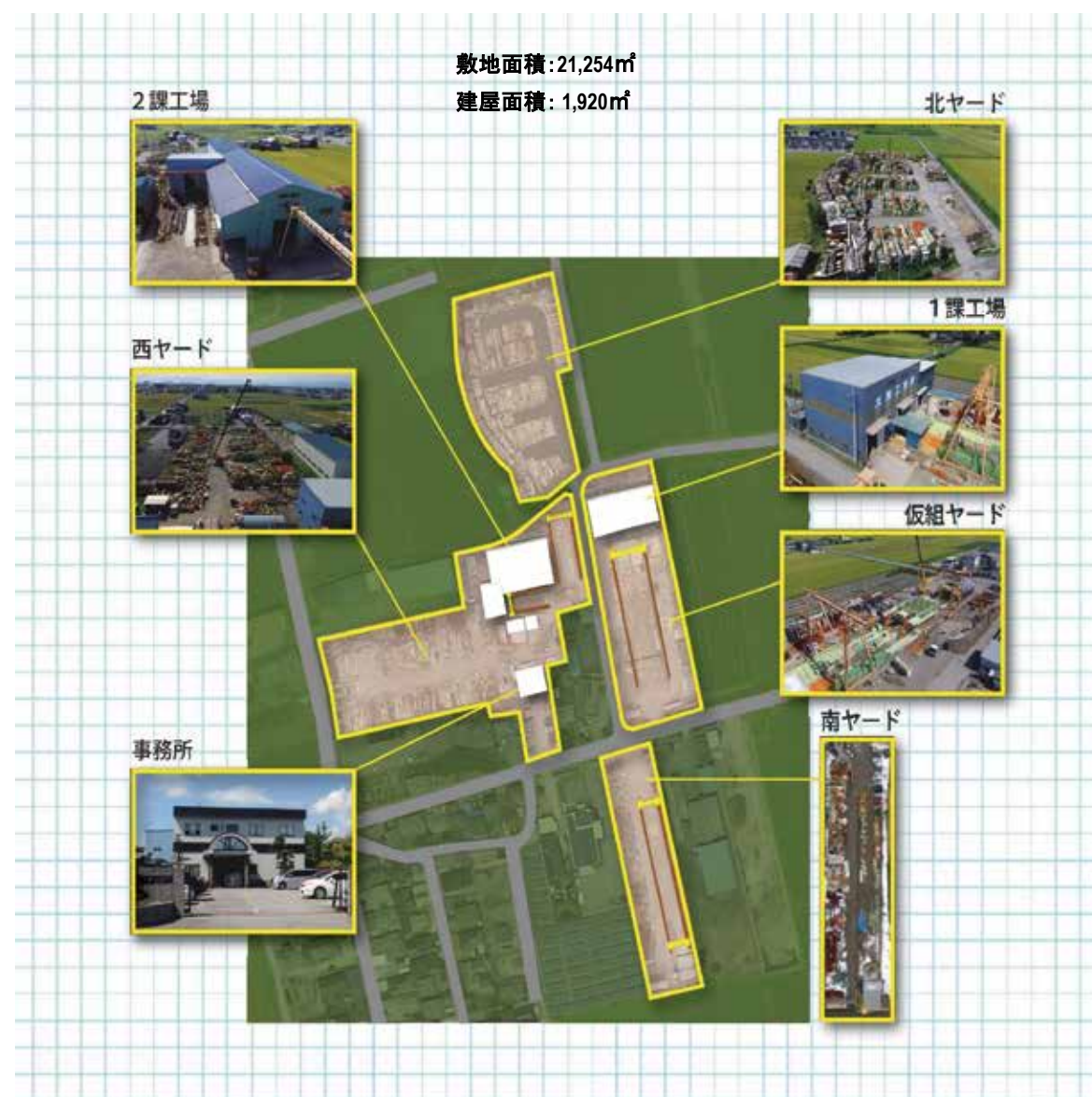




カタログ
2025年版

| 会 | 社 | の | 概 | 要 |

- 会 社 名 大栄工機株式会社
- 所 在 地 〒526-0842
滋賀県長浜市春近町90番地
TEL.0749-64-0246
- 設 立 1985年
- 資 本 金 20,000,000円
- 役 員 構 成 代表取締役社長 古磯 万頼
社外取締役 関山 正勝 (日建リース工業株式会社 代表取締役会長)
社外取締役 中六角厚志 (日建リース工業株式会社 常務取締役)
監査役 高橋 武司 (日建レンタコム株式会社 取締役管理本部長)
- 取扱い製品 1、セントル
2、各種台車
3、インバート棧橋



| 目 次 |

contents

1、開発製品		5、バイブレーター	
スイッチャーズ	3	天端懸垂式バイブレーター	41
支保工スクレーパー	5	型枠バイブレーター	43
自動溶着機	7	伸縮式バイブレーター	45
長尺スラックシート	9	6、ケレン装置	47
広幅シート張り作業台車	11	7、箱抜き	49
センサーバイブレータシステム	13	8、シート・鉄筋・換気台車	51
残コン回収・分別装置	15	9、フィルム台車	53
省力化検査窓		10、オプション	55
横開き検査窓	17	11、インバート棧橋	
中央排水管浮力防止装置『浮力に勝つ』	19	インバート棧橋	57
錆防止	21	急速施工用	59
サイドフォーム油圧セット	23	折り畳み式	61
油圧式鋼製妻板	25	ベルコンフィーダー	63
2、セントル		12、養生	
スライドセントル	27	セントル養生	65
アウトセントル	29	加温養生セントル	67
特殊セントル	31	EPSパネル養生	69
特殊型枠	33	13、オリジナル製品	
3、表面処理	35	スマートセントル	71
4、配管切替装置		スターライトセンサー	73
配管切替装置	37	ラップ側セット装置	75
スパイダー打設	39	天フォーム昇降台車	77

特許出願中
NETIS登録 KK-240078-A

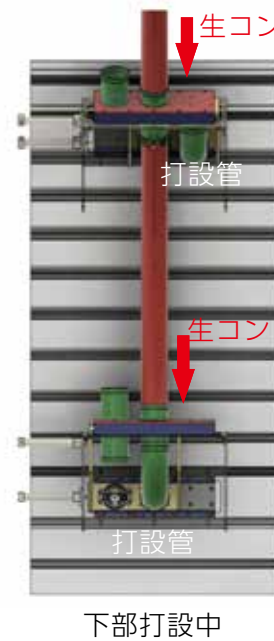
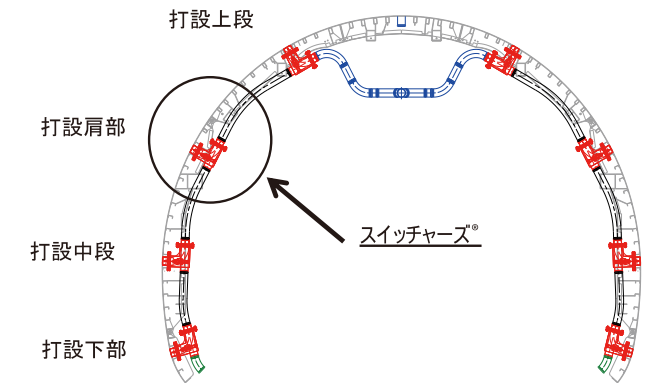
自動配管切替装置 『スイッチャーズ®』



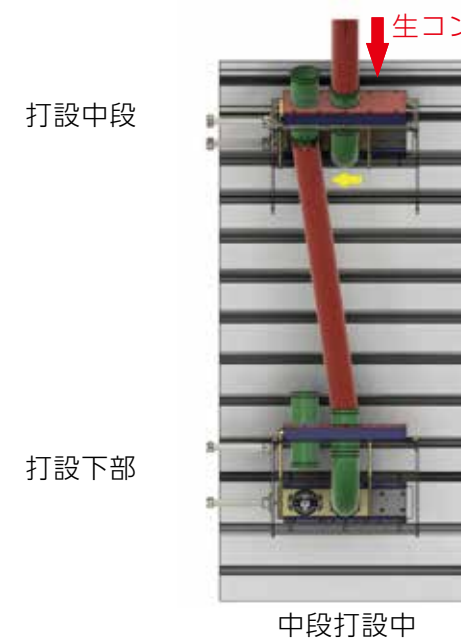
特 長

- 1、省人・省力化⇒配管切替が『スイッチ』1つで切替が可能です(切替時間が約2秒)。
- 2、品質向上⇒打込み高さをH=1.5m以下にする様にスイッチャーズを配置しました。
- 3、打設時間の短縮⇒配管切替時でもコンクリートポンプの連続運転が可能です。
- 4、苦渋作業からの解放⇒配管の水洗いが容易にできます。

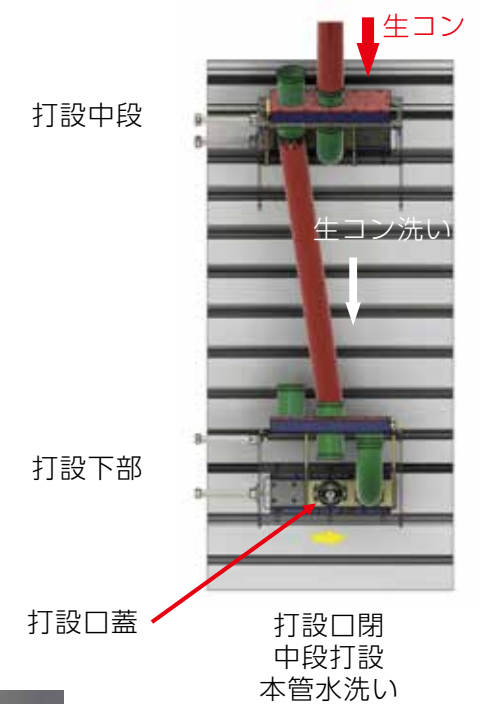
概 要



下部打設中



中段打設中



打設口蓋

打設口閉
中段打設
本管水洗い



打設口



打設中



打設口蓋

Concrete

高品質なコンクリートに挑む

特許第4649420号
NETIS登録 HK-170013-VE (活用促進技術)

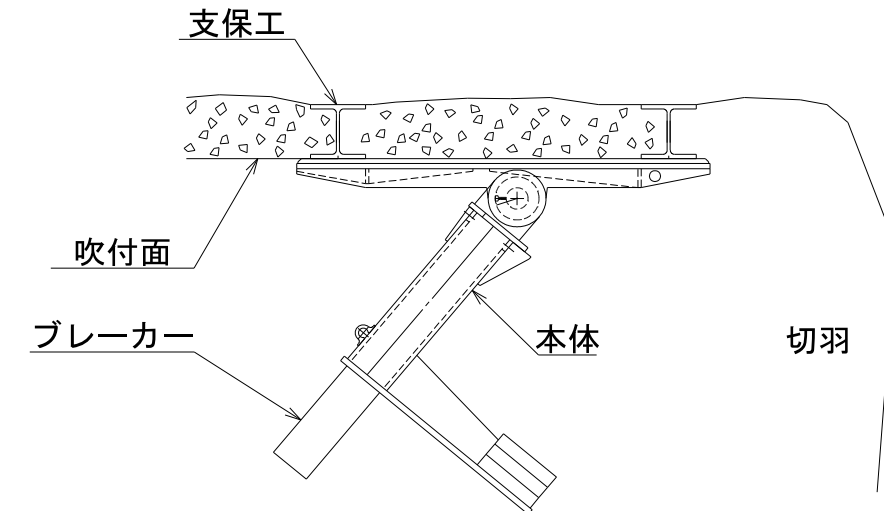
吹付けコンクリート平滑工法 『支保工スクレーパー』



特 長

- 1、覆工コンクリートの巻厚が一定となり、品質が向上します。
- 2、吹付面の凸凹が解消され、防水シート施工時の破損防止となります。

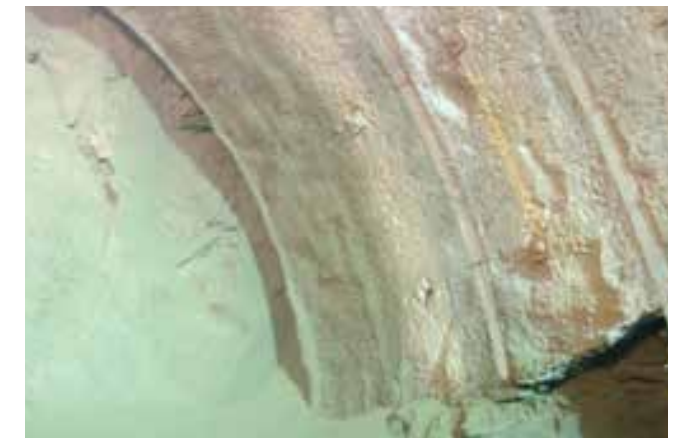
概略図



施工写真



吹付け作業中



吹付け作業終了



スクレーパーで平滑作業中



平滑作業完了

E a s e

省力・省人化に挑む

特許第7263273号
NETIS登録 KK-230038-A

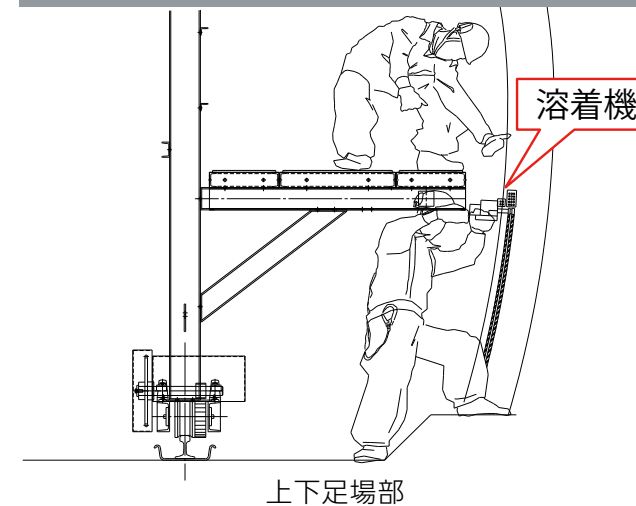
作業員1人で押し溶着が可能！ 自動溶着機 『省人化率50%』



特 長

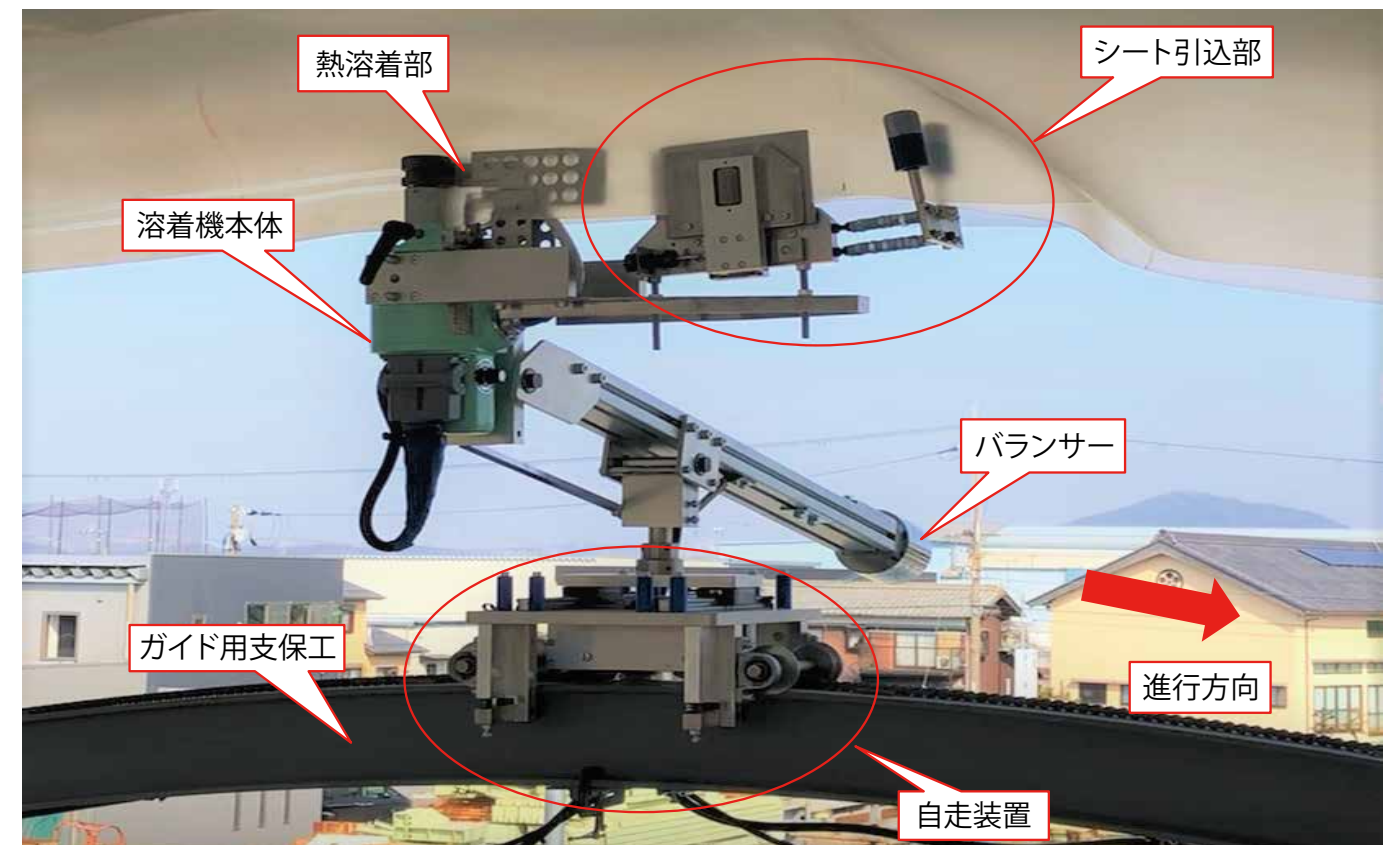
- 1、溶着部の品質確保と向上
 - ①溶着部のローラー速度と本体速度が常に同調します。
 - ②シート端部を揃える技術（エッジコントロール）を採用した事で、確実に溶着が可能となりました。
- 2、省人・省力化
 - ・従来は、2人⇒新技術は、1人
- 3、苦渋作業からの解放

従来の施工 ⇒ 溶着機を2人でリレーする方法（作業員が2名必要）



風管部

施工写真



特許第6330099号
NETIS登録 HK-220011-A

施工スピードが2倍 & 定量的にたるみを持たせる 長尺スラックシート



特 長

- 1、防水機能の確保が可能となりました。⇒【覆工コンクリートの高品質化】
 - ・定量的にたるみ（スラック）を持たせる事で、シートの余裕不足を解消します。
 - ・溶着箇所が従来の1/5となり、溶着不良による漏水の確率が低減します。
- 2、シート長が従来の5倍となりました。⇒【生産性の向上】
 - ・10.5mのシート張り作業を約3時間での施工実績があります。
 - ・溶着箇所が従来の1/5となり、施工時間が1/5となりました。

施工手順

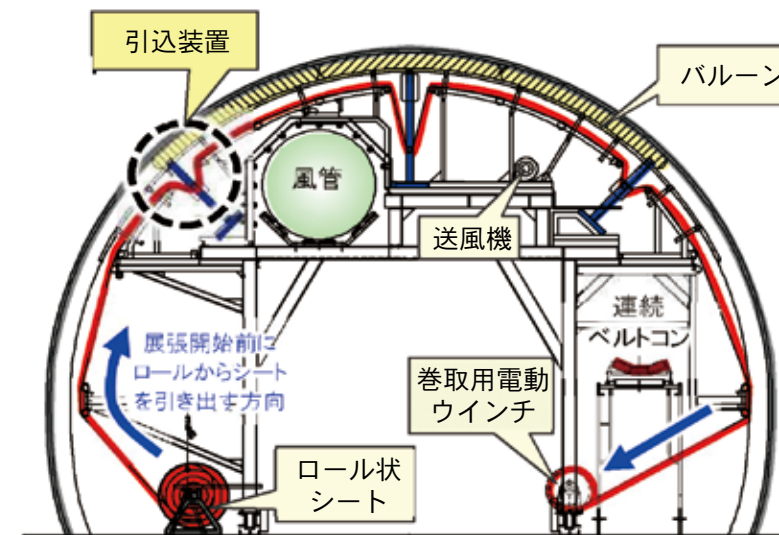


図-1 シート台車(展張装置)の全景



写真-1 荷姿(1100×1100×H1000mm)
重量:200kg以上



写真-2 蛇腹シートの牽引状況

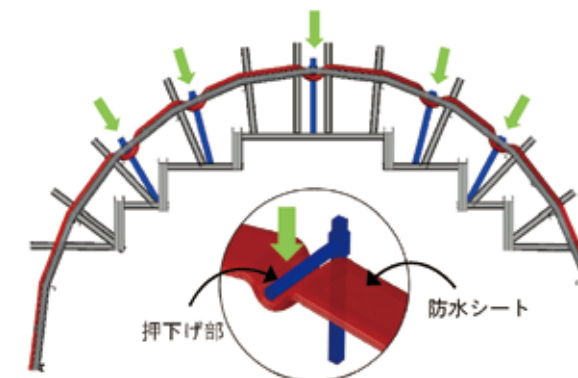


図-2 シートの引込装置

※引込装置:シートを押下げてたるみを持たせる機能



写真-3 押下げ機工装置の全景

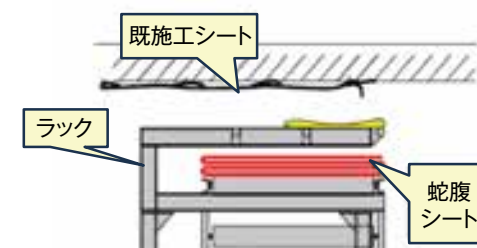


図-3 蛇腹シートをラックへ牽引

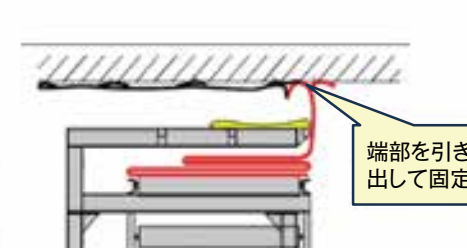


図-4

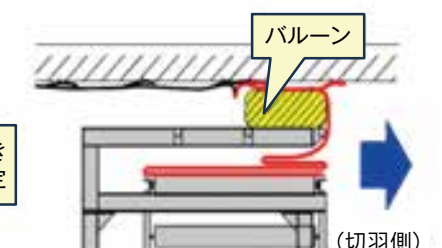


図-5 バルーンへ送風し、台車を移動

特許出願中

現場での溶着・苦渋作業の軽減 『広幅シート張り作業台車』



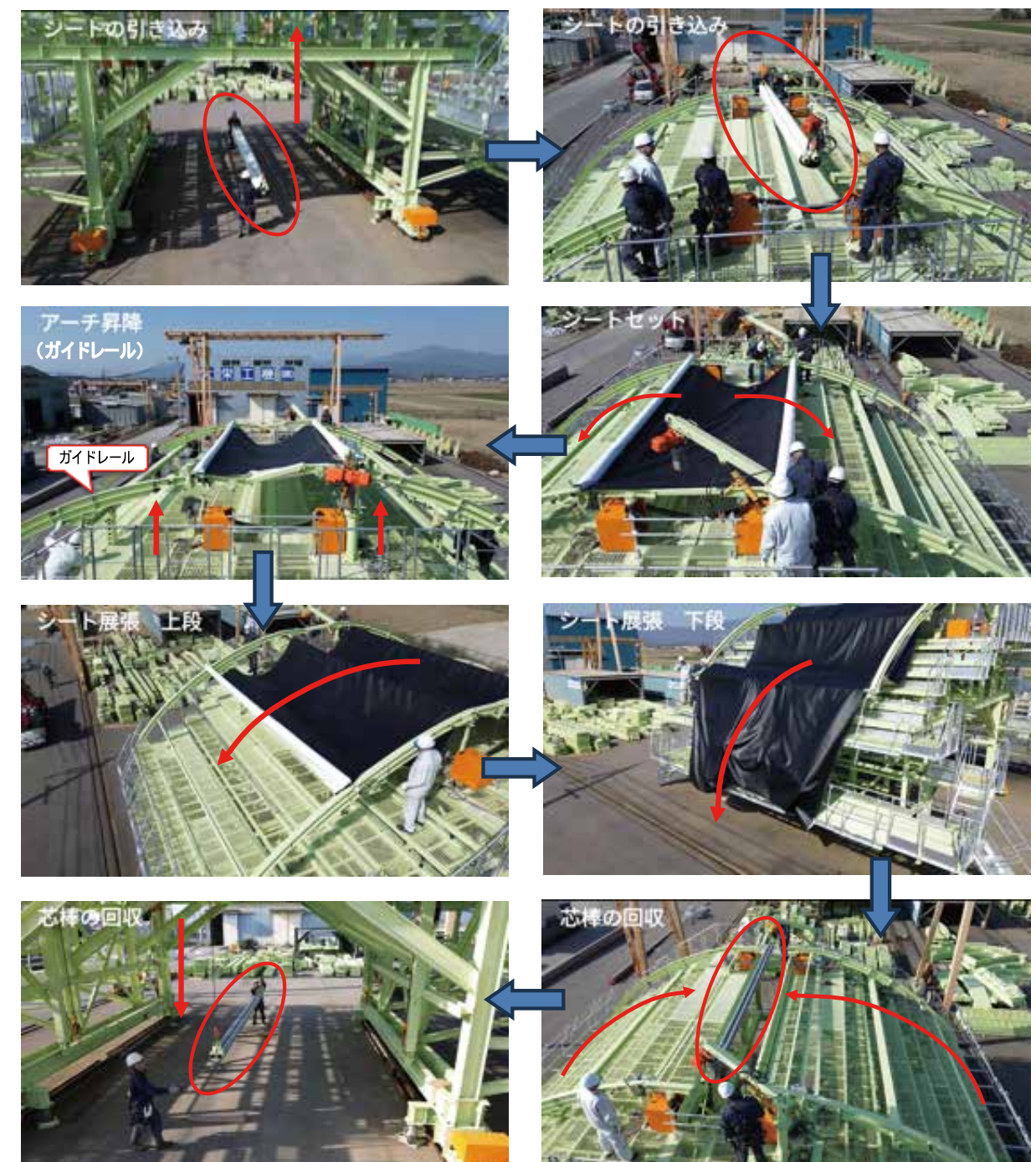
特 長

- 1、品質向上 ⇒ 2～3枚のシートを工場溶着・検品して、現場での溶着箇所を減らす。
- 2、省人・省力 ⇒ 従来複数人で行っていた苦渋展張作業を2人で施工が可能となった。
- 3、ガイドレールに沿わせてセットしたシートが設置面まで上昇して近づくため、重たいシートの固定が省力化される。

概 要

メガネ巻の広幅シートを台車上の展張装置に引き上げ、ガイドレールに沿って両側に一定間隔に下ろしながら引き上げ、シートを固定出来る為、定量のたるみを持たせながらシートを展張できる。

施工手順



Concrete

高品質なコンクリートに挑む

バイブレーター作業省人化 & コンクリートの品質向上 『センサーバイブレータシステム』



特 長

棒状バイブレーターの作動時間、振動深さは任意に設定できます。

概 要

棒状バイブレーターの振動部先端に内装させたコンクリートセンサーでコンクリートの立ち上がりを検知して、自動的に操作できるシステムです。バイブレーター作業の省人化、コンクリートの品質向上が図れます。



センサーバイブレータ本体



センサーバイブレータ本体

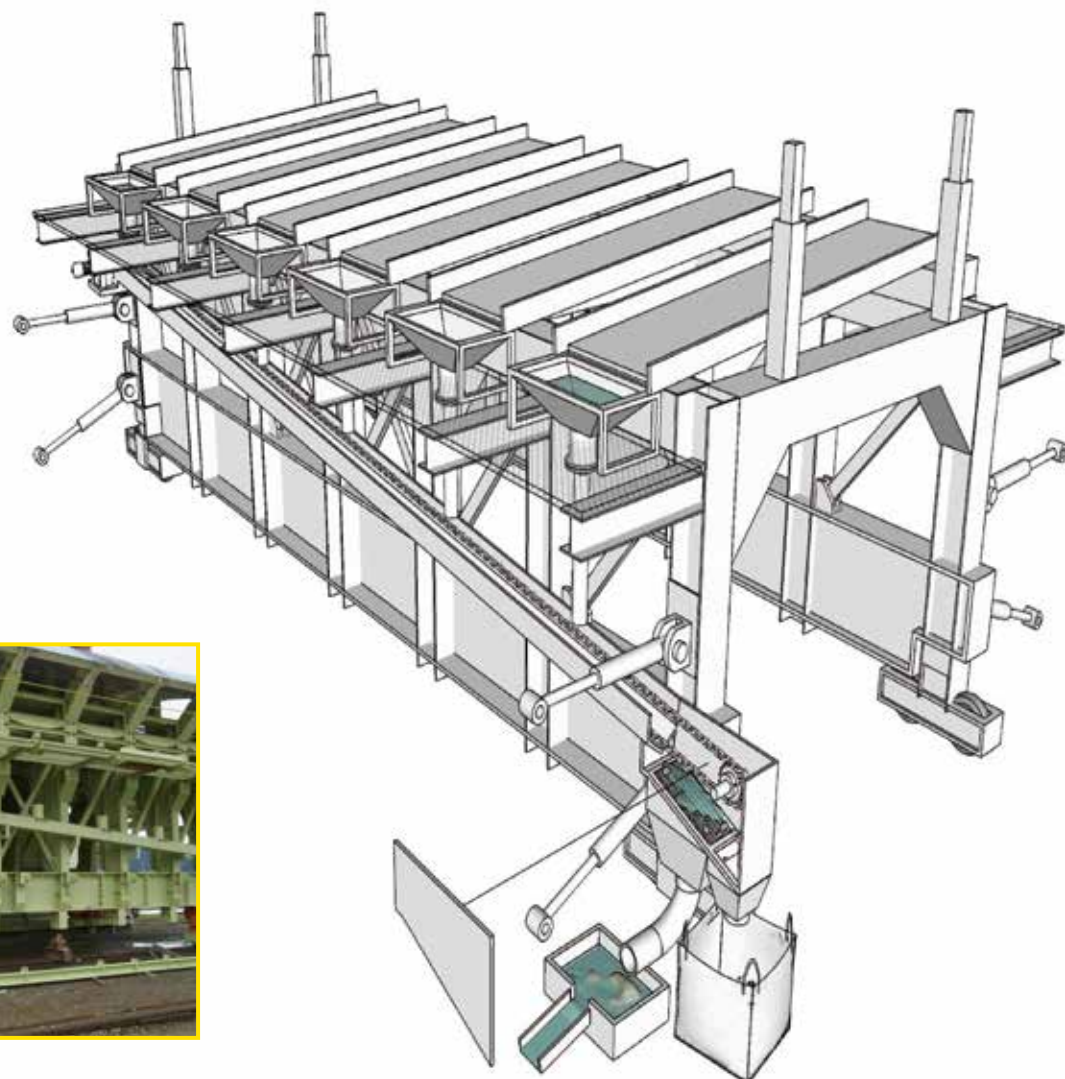


センサーバイブレータ巻き取り装置



制御盤

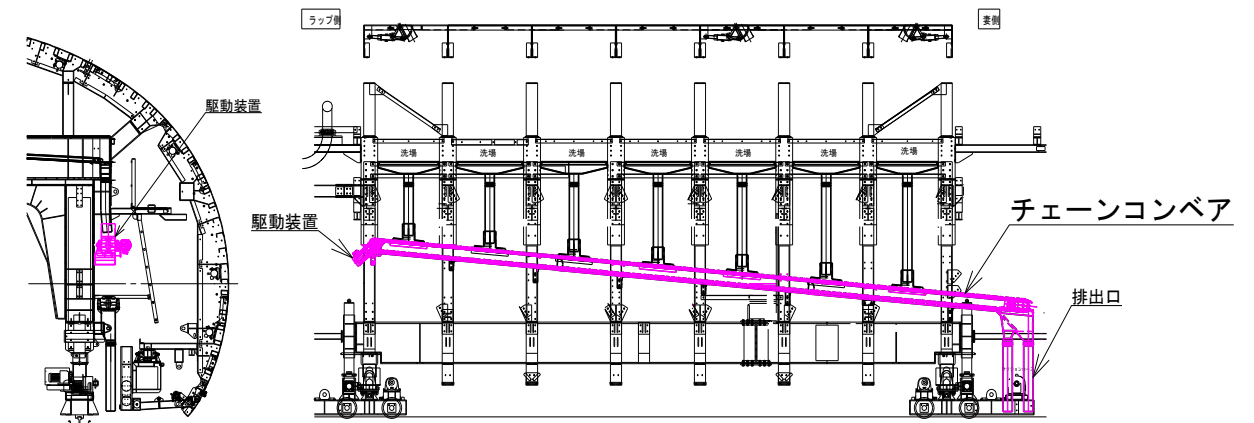
苦渋作業からの脱却 『残コン回収・分別装置』 水分・砂・骨材を自動分別！



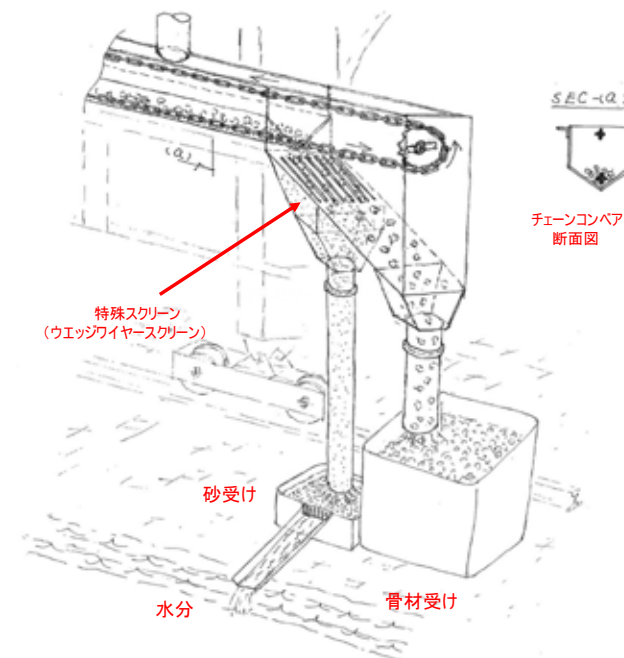
概要

- ・打設後の残コンクリートと洗いをチェーンコンベアを移動手段として、水分、砂、骨材に分別回収する

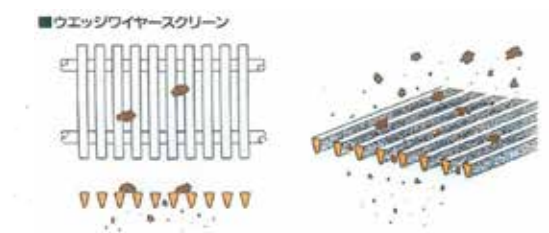
図



イメージ図



- ウエッジワイヤースクリーンの特徴
- 1、形状が逆三角形(▼)の為、目詰りしづらい
 - 2、スクリーン面が平滑の為、スムーズに流れる



排水用トイ



排水用ホッパー

E a s e

省力化に挑む

特許第7026841号 (横開き検査窓)
特許第7072128号 (ワイドタイプ)

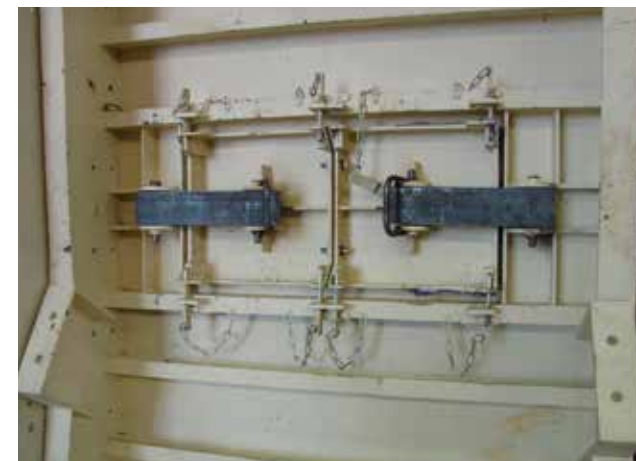
横へ開く 『横開き検査窓』



横開き検査窓



ワイドタイプ w=900mm



従来の検査窓 幅550mm×高さ450mm



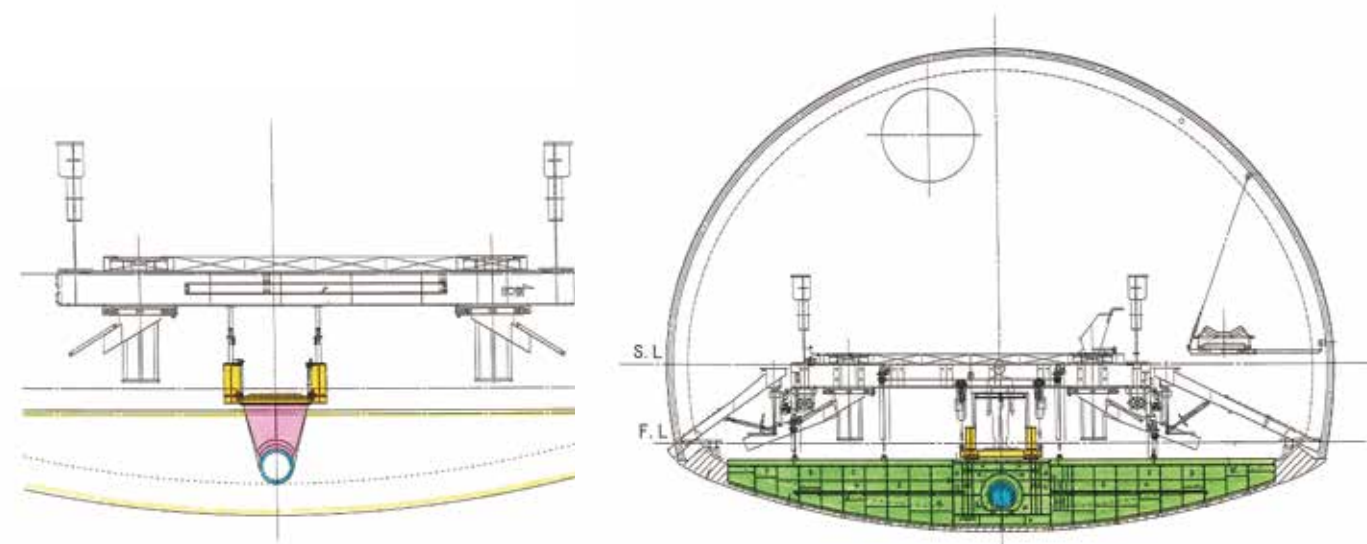
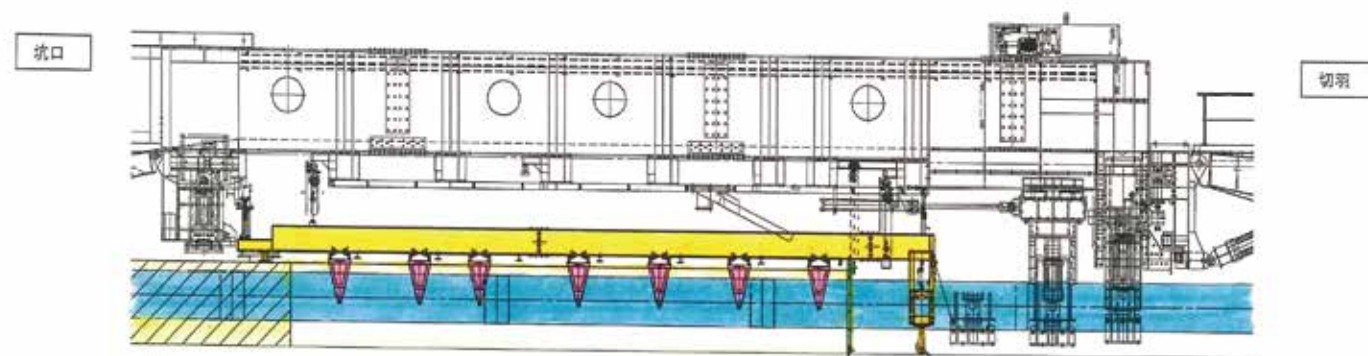
横開きワイドタイプ 幅900mm×高さ450mm



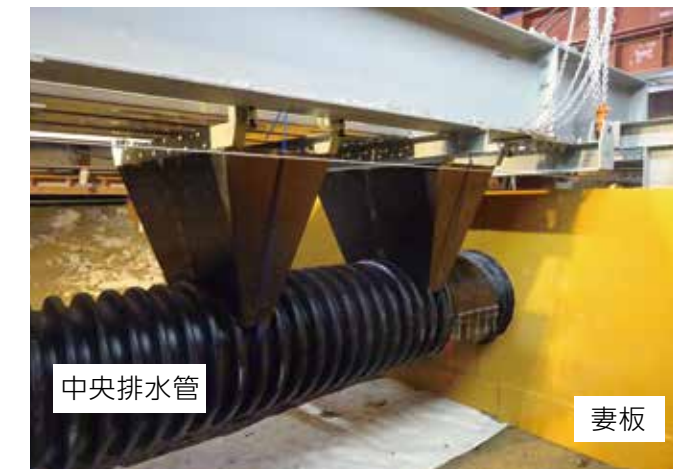
- ・ワイドタイプの為、バイブレーターの施工範囲が広がります。
- ・打設とバイブレーターの同時施工が可能となります。

特許出願中

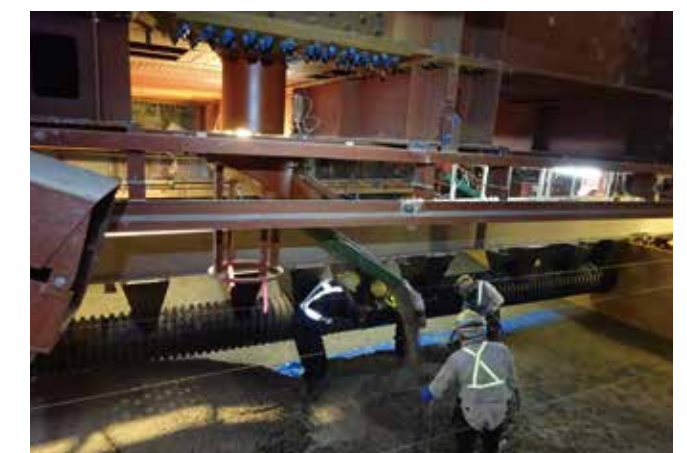
中央排水管浮力防止装置 『浮力に勝つ!』



浮力防止装置



インバート栈橋の上部



インバートコンクリート打設状況

特許出願中

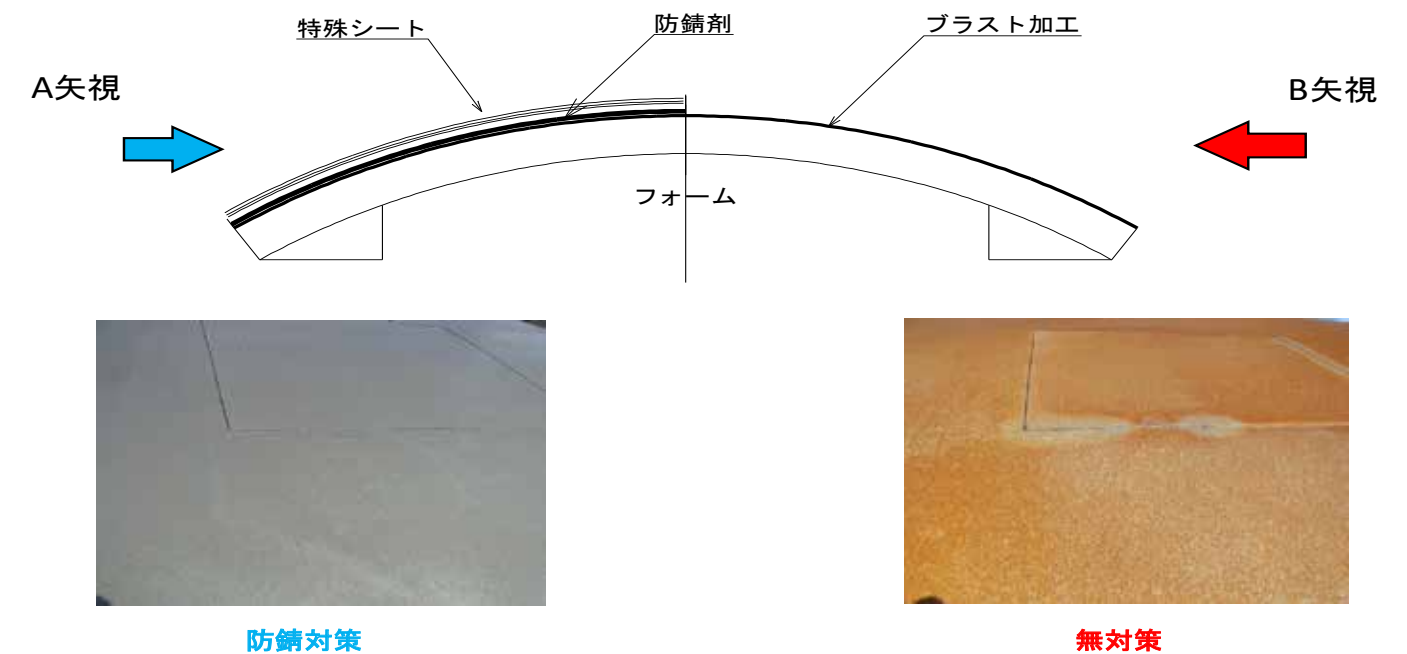
型枠の長期保管・坑門工事に最適 『錆に勝つ！』 特殊シート＋剥離剤



概要

- ・特殊シート（不織布＋フィルムの一体シート）を防錆剤『プレトン』を塗布したフォーム表面に覆い被せる
⇒結果は、錆びの発生を抑える事が可能となりました。

実証試験結果（2ヶ月間実施）



施工写真

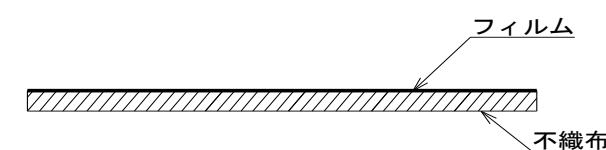


長期保管状況



坑門工事

特殊シート物性



	不織布	フィルム
材質	ポリエステル	ポリプロピレン
厚さ	1.0mm	0.2mm

重量: 150g/m²

容易な脱型・セットが可能 『サイドフォーム油圧セット』

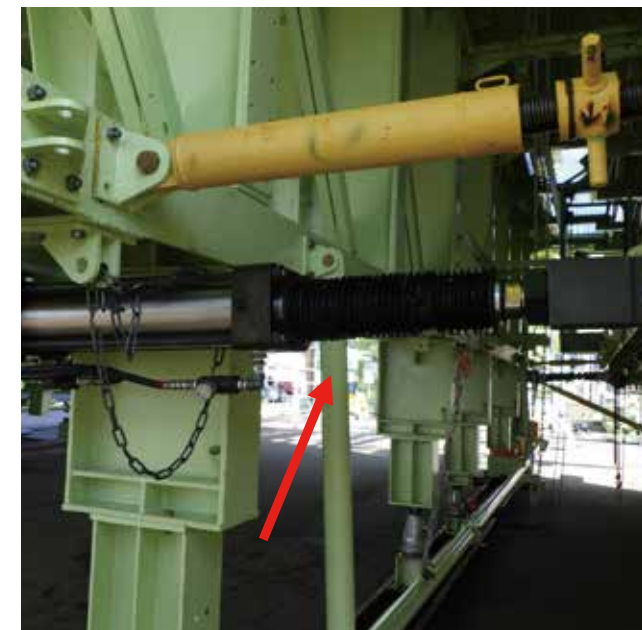


特 徴

- 1、省人・省力化 ⇒ 一人のスイッチ操作でサイドフォームの脱型・セットができる。
- 2、手作業が無くなる為、安全な作業が行える。

概 要

サイドフォームの両端に油圧式シリンダーを装備し、手元スイッチの操作でサイドフォームが脱型・セットが容易に行える。



油圧シリンダー



油圧シリンダー



油圧シリンダー



サイドフォーム外観

妻板の容易なセット・脱型 『油圧式鋼製妻板』



特 徴

- 1、省人・省力化 ⇒ 手作業で行う妻板セットが油圧シリンダーにより自動化できる。
- 2、油圧シリンダーで妻枠をセットする事で作業時間の短縮が図れる。
- 3、高所の狭い場所での手作業が無くなる為、安全面の向上が図れる。

概 要

鋼製で出来た妻枠を油圧シリンダーの伸縮により、セット・脱型が容易に出来る構造とした。



Concrete

高品質なコンクリートに挑む

スライドセントル

『フォームは、9.0mmのスキンを使用』



特 徴

- 1、スチールフォームのスキンプレートは $t=9.0\text{mm}$ を採用
- 2、安全を配慮した色彩（主要部材：若竹色、フォーム内側：クリーム色）
- 3、歩きやすい空間確保と、広い張出足場が特徴

写 真



スチールフォーム



スチールフォーム



スライドセントル



非常駐車帯用スライドセントル



小断面用スチールフォーム



小断面用スチールフォーム

明かり巻用 アウトセントル



アウトセントル



本体 (L=6.5m)



肩部



天端部



側部



妻板押さえ



妻板押さえ

Concrete

高品質なコンクリートに挑む

特殊仕様 セントル



特殊セントル



擦り付け型枠



小断面セントル



中折れセントル



坑門工



テレスコセントル



テレスコセントル

特殊な現場用 型 枠



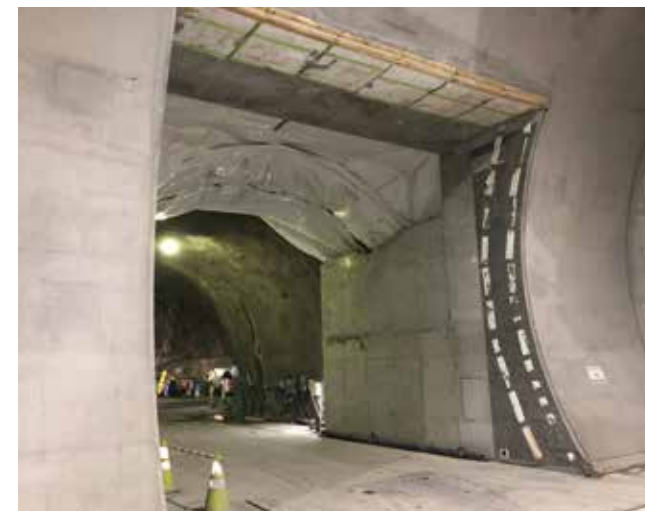
特殊型枠



防潮堤



防潮堤



連絡坑



連絡坑



立坑



立坑

Concrete

高品質なコンクリートに挑む

最終仕上げは 表面処理技術



表面処理技術 各種



無垢 (SS400)



ステンレス (SUS304)



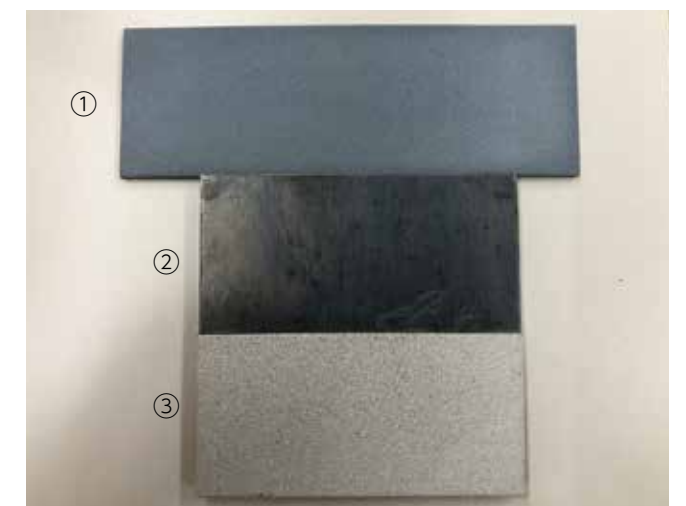
ブラスト



樹脂コート



セラミック



①セラミック比較②無垢③ブラスト

省力・省人化 配管切替装置



配管切替装置・機内配管



4P分配器



4P分配器



配管



配管



2P手動式



2P電動式

Concrete

高品質なコンクリートに挑む

特許第4863308号
NETIS登録 KT-120099-A

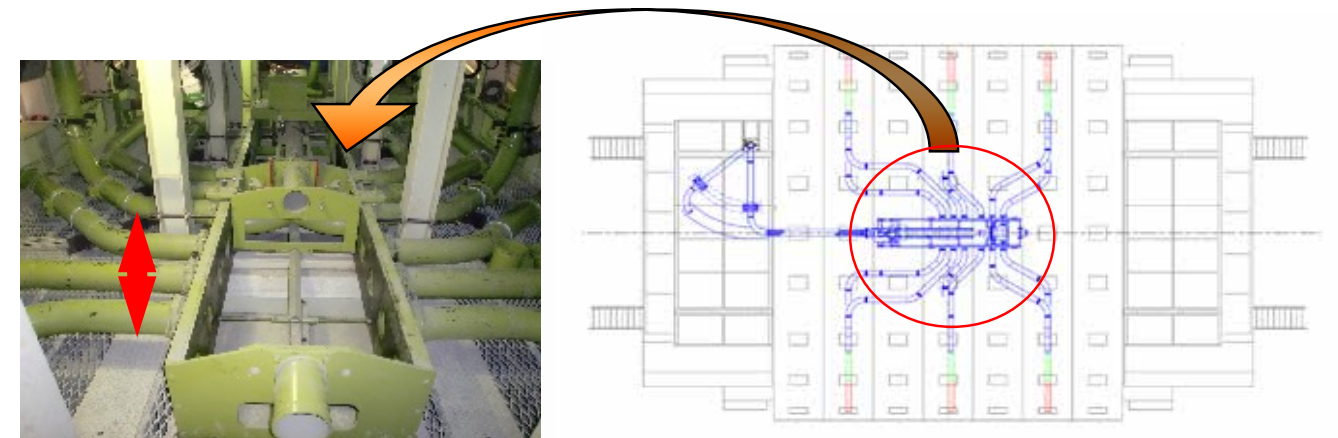
左右同時打設が可能！ スパイダー打設システム



特徴

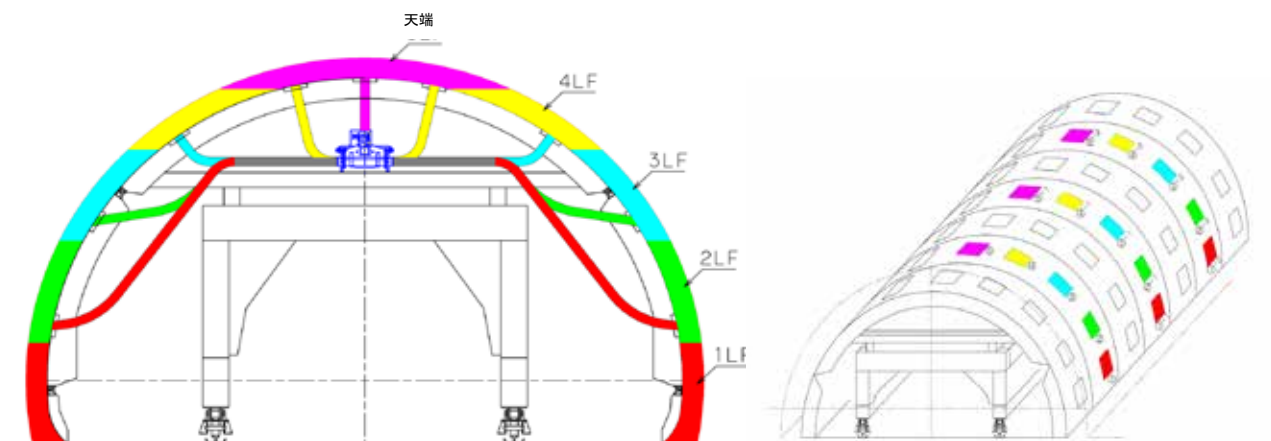
- 1、配管切替がスムーズ
- 2、左右同時に打設が可能
- 3、省力化・省人化
- 4、打設時間の短縮

概要図



リニアエンコーダーにより正確
に所定の位置に移動

分配装置



1～3LF:Aライン、4LF:Bライン、天端:Cライン

写真



Aライン：サクションホース



Bライン：鋼管



Cライン：吹き上げ方式

天端の締固め用 懸垂式バイブレーター



天端懸垂式バイブレーター



全景



全景



引込部



懸垂部



妻部（創意工夫）



バイブレーター本体

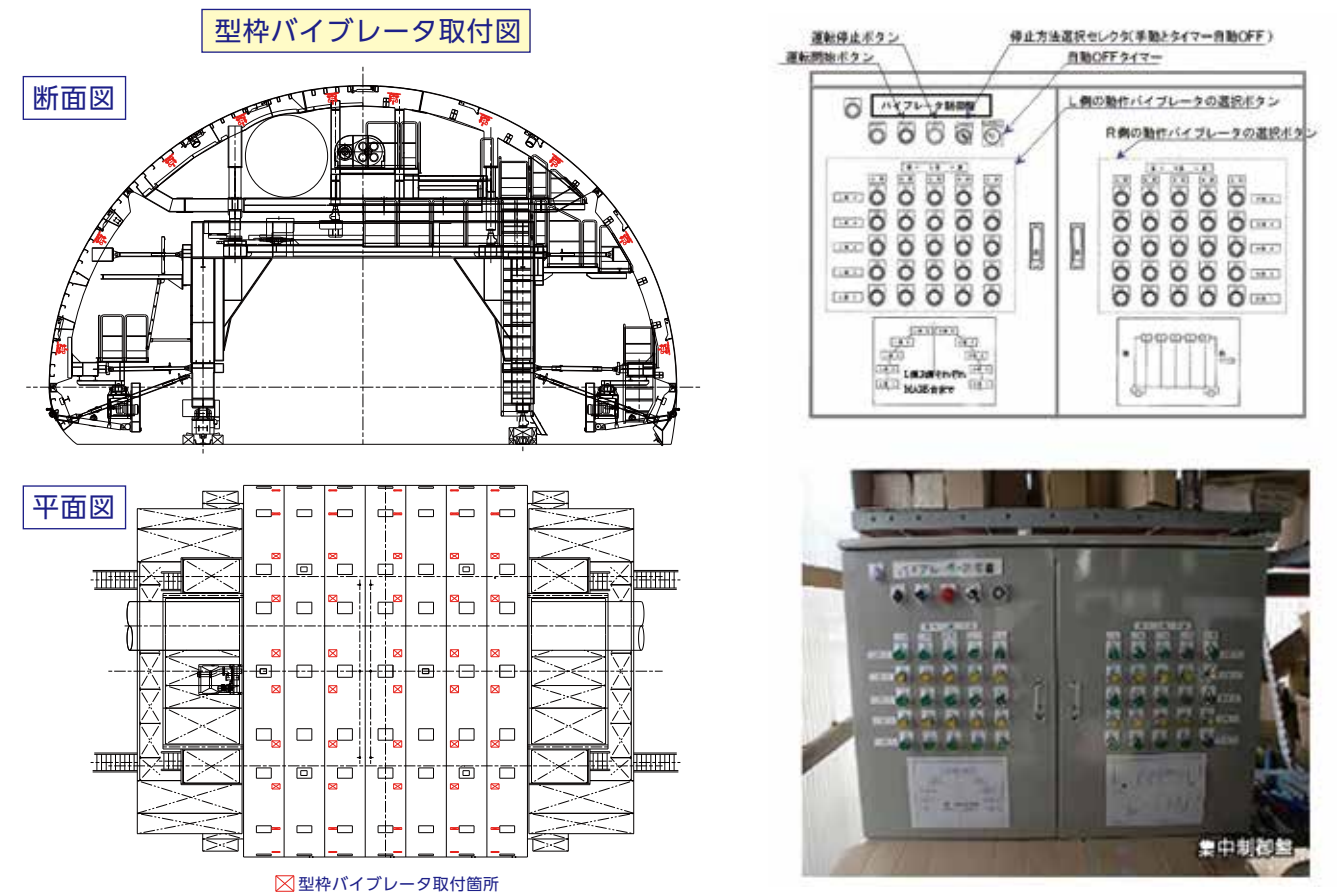
集中制御機能付き 型枠バイブレーター



特 徴

- 1、打設高さに応じて、集中制御盤で操作が可能
- 2、中流動コンクリートの打設に最適
- 3、省力・省人化に最適

概略図



写 真



バイブレーター



インバータ

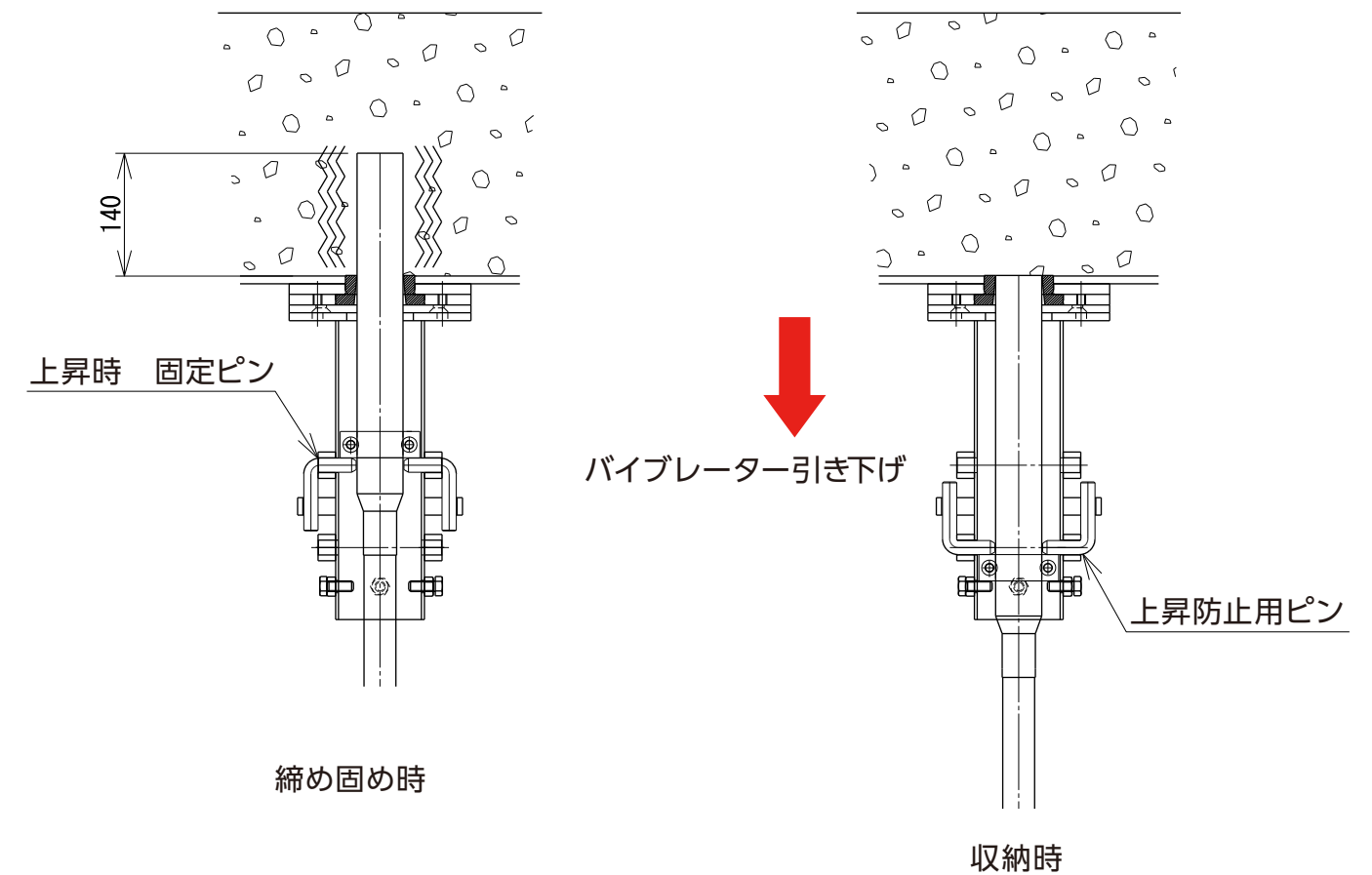
『伸縮式バイブレーター』 狭小部の締固めに最適



概要

型枠内部からバイブレーターを突き出し、コンクリートを締固めをする

概要図



写真



本体



バイブレーターが突き出した状況



仕上り状況

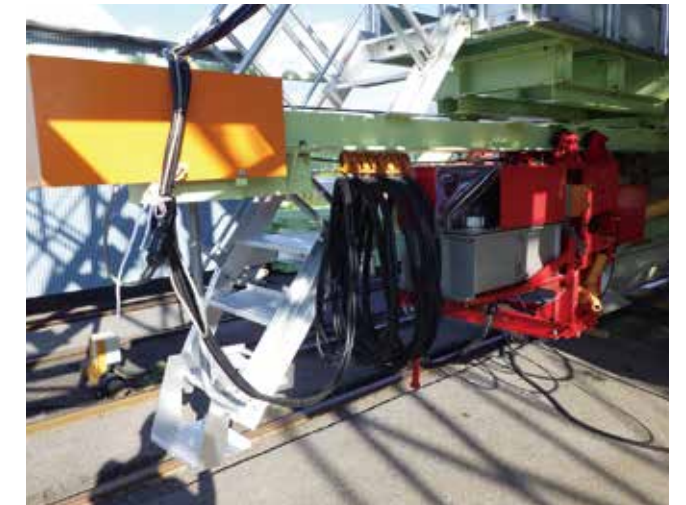
高品質なコンクリートには 『確実なケレン』



ケレン装置写真



本体



本体



本体



制御盤



ケレンブラシ



塗布装置

Concrete

高品質なコンクリートに挑む

鋼製・木製 箱抜き型枠



箱抜き型枠



木製



木製



木製



木製



鋼製



鋼製

安全性と作業性を重視した シート・鉄筋・換気台車



シート台車 (大断面)



シート台車 (足場長さ L=6.0m)



リフト付き鉄筋台車



リフト付き鉄筋台車



換気台車



換気台車

『背面平滑工法』 フィルム台車



フィルム台車



本体



妻部



シート受け部



シート治具



仕上り



箱抜き部

Concrete

高品質なコンクリートに挑む

創意工夫 オプション製品

オプション（インバートコンクリート）



インバートコンクリート用ディストリビューター



インバートコンクリート用ディストリビューター



インバートコンクリート仕上り状況



インバートコーナー仕上げ

オプション（圧力センサ、ジューテンダー、有孔妻板）



圧力計

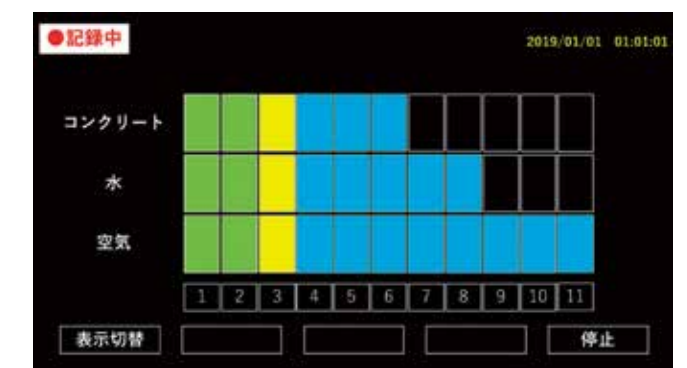


圧力計表示盤



コンクリートの充填および締固め、発現強度を測定

ジューテンミエルカ



モニター表示イメージ



有孔妻板（鋼製）



有孔妻板（鋼製）

Speed

急速施工に挑む

切羽常時掘削 インバート栈橋



インバート栈橋



本体



車両通行部



跳ね上げ時



本体移動（スライドタイプ）



本体移動（車輪方式）



本体移動（自走タイプ）

切羽側斜路スライド・分割式 急速施工用インバート栈橋



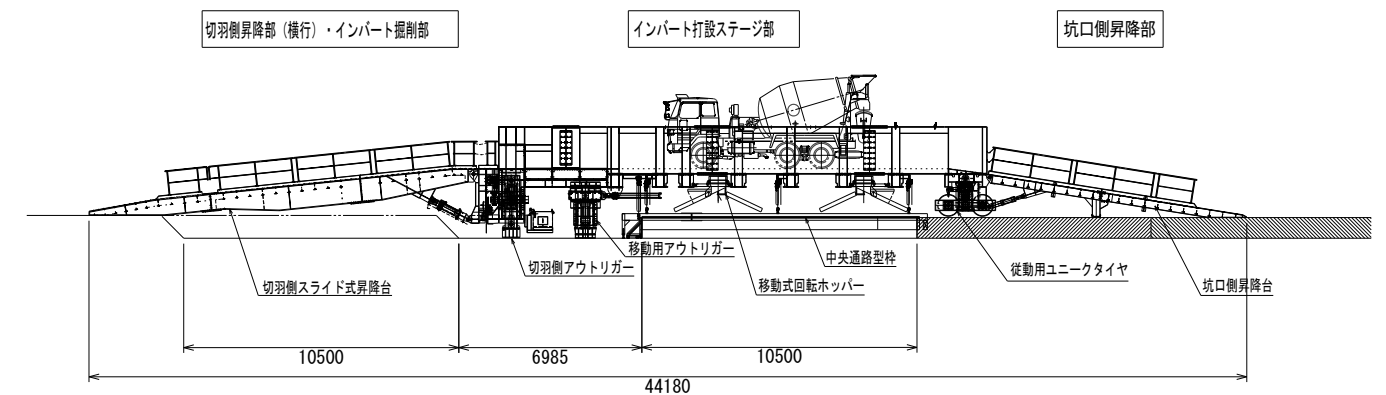
特徴

- 1、打設完了後に次スパンのインバート掘削が可能です（急速施工）
- 2、切羽側斜路が横移動と左右に分割できるので、さまざまな掘削作業に対応が可能です

仕様

- 1、全長44m×全幅7m 重量：約160 t
- 2、搭載能力 41 t 重ダンプ+6m³トラミキ
- 3、前後昇降路跳ね上げ・栈橋本体移動 油圧式（油圧ユニット15kw）
- 4、切羽側昇降路横行 電動式(5.5kw)

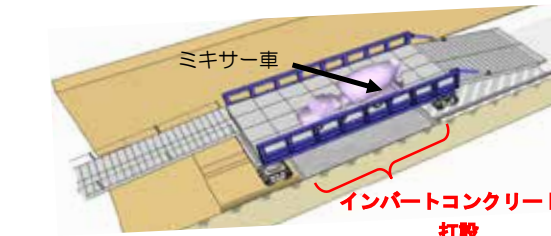
全体図



概念図

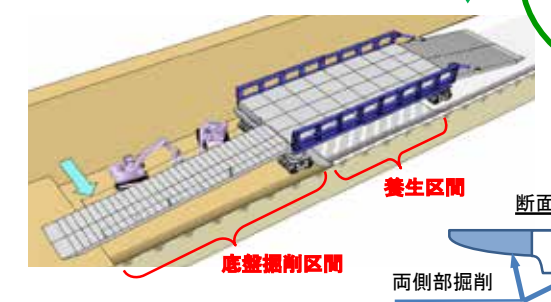
STEP1 昼間（午前～午後）

- ・栈橋上からシュートにてコンクリート打設



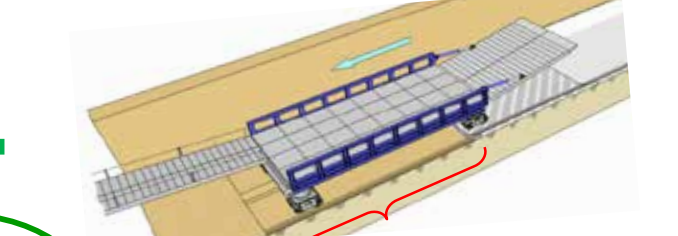
STEP2 夜間 底盤掘削

- ・両側部掘削

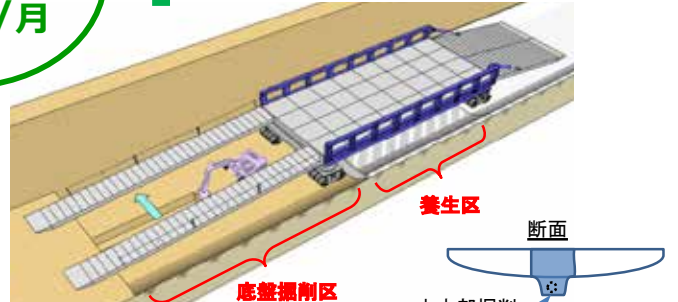


STEP3 翌朝～午前中

- ・次の施工区間へ移動⇒型枠セット



- ・中央部掘削⇒中央排水工設置



急速施工用インバート栈橋を使用したインバート工のサイクル

毎日(週6回)
月進最大
252m/月

斜路折り畳み式 インバート栈橋



特徴

- 1、打設直前のインバートを掘削可能
- 2、急速施工：週5回の打設可能

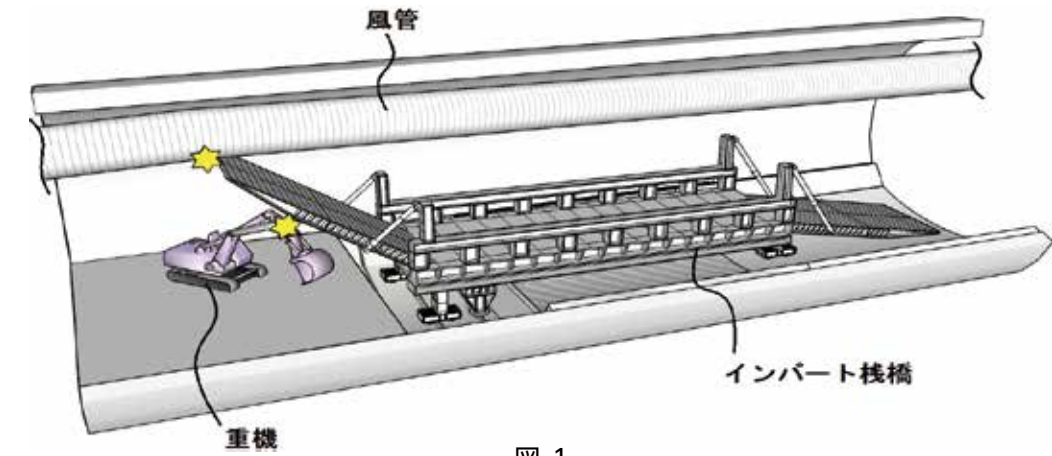


図-1

※従来のインバート栈橋の場合風管等に斜路が干渉し掘削ができない状況

施工手順

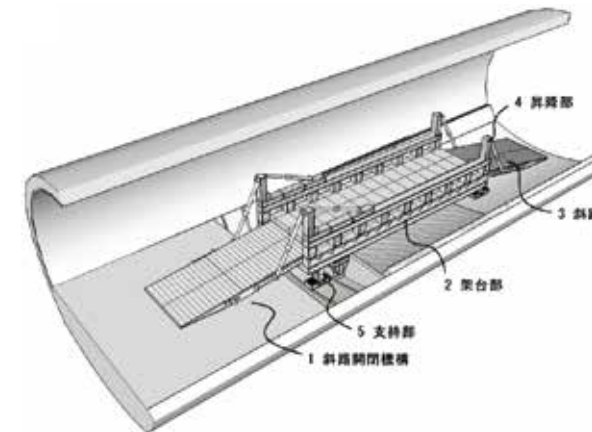


図-2

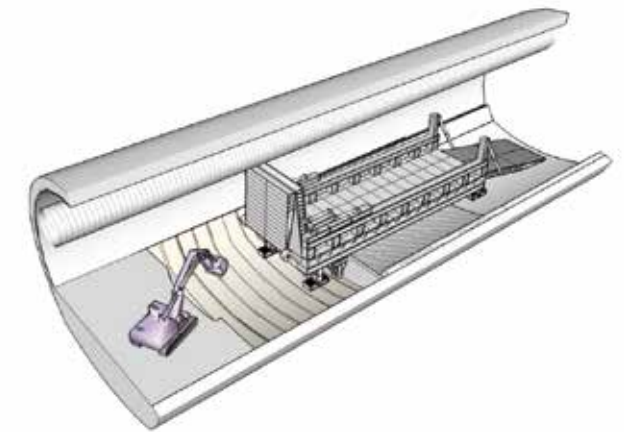


図-5 折り畳み後インバート掘削

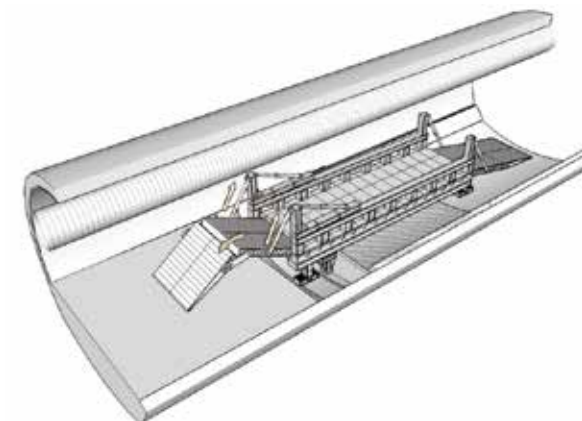


図-3 切羽側斜路を折り畳み開始

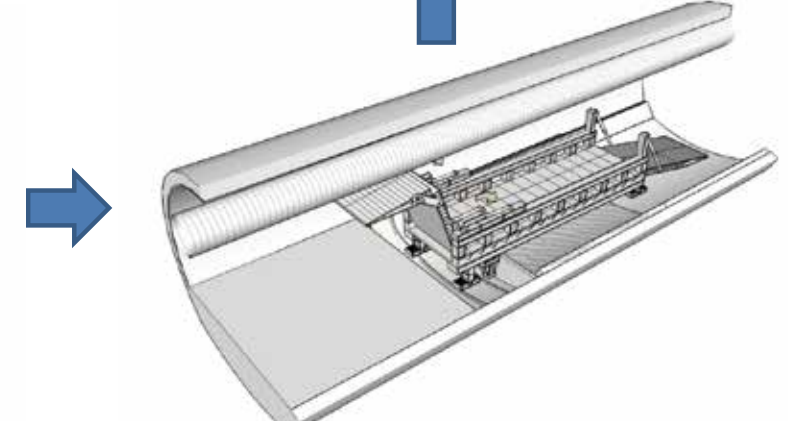


図-4 切羽側斜路90° 折り畳み

特許第7154452号

インバートコンクリート打設用 『ベルコンフィーダー』



特 徴

- 1、打設毎の配管、シュートが不要。
- 2、所定の場所にポイント打設が行える。

概 要

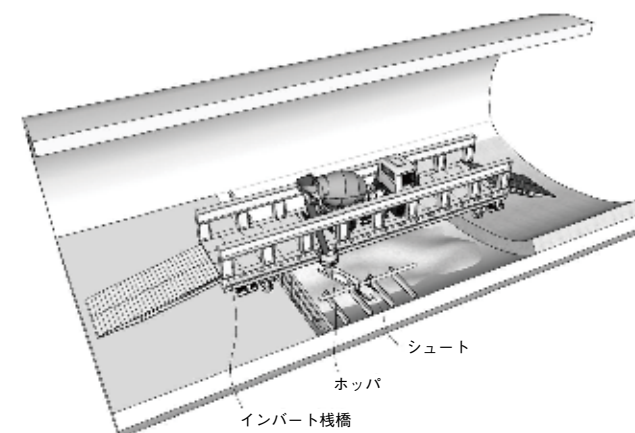


図-1 従来はシュートで打設

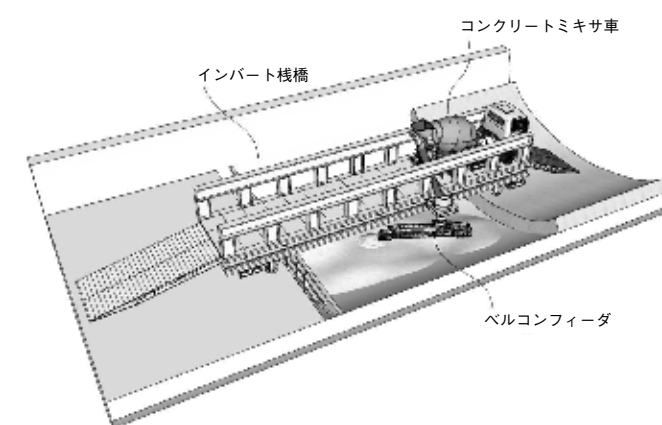


図-2 新工法（ベルコン打設）

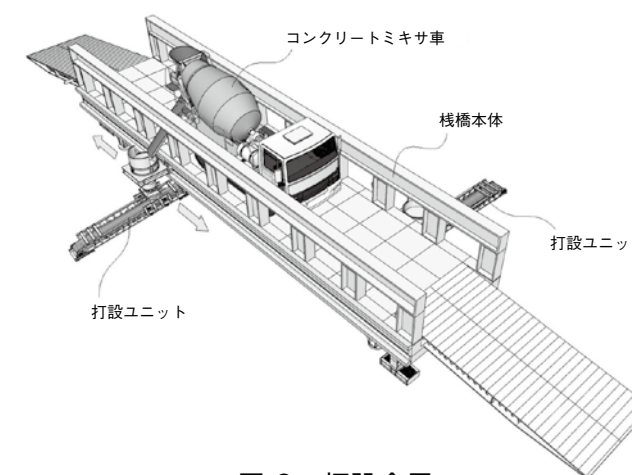


図-3 打設全景

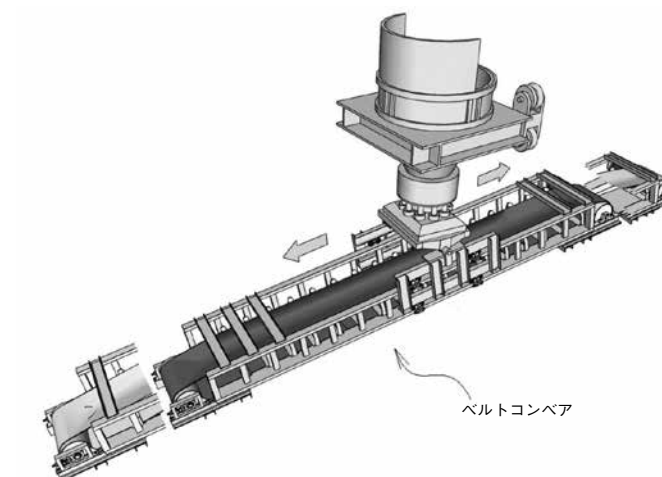


図-4 ベルコン前後ヘスライド

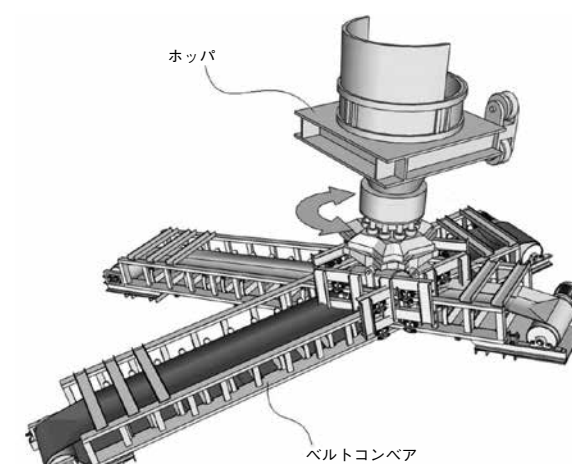


図-5 フィーダー全体が回転と首振り

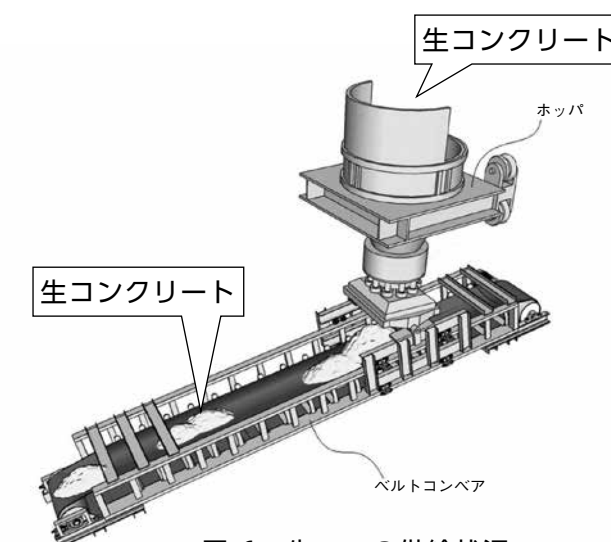


図-6 生コンの供給状況

初期材令強度の確保 セントル養生

特徴

- 1、初期材令強度の確保
- 2、剥離、付着の防止

外気温度と坑内温度比較表



養生温度と初期強度比較表



写真



I 型



II 型



骨組み



車両通行部シート

特許第7227317号
NETIS登録 KK-200047-A

テクヒーターを利用した
『セントル加温養生』



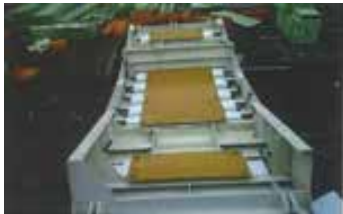
概 要

テクヒーター（発熱作用）と断熱材がセットされた装置を、セントルの内面に設置し発熱と断熱効果でセントルを加温する

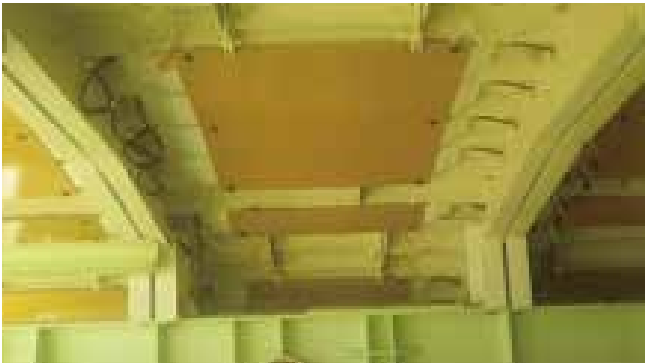
特 徴

- 1、初期材令強度がアップする
- 2、付着、剥離を防止する
- 3、長期耐久性にすぐれたコンクリートの構築

比較表

	テクヒーターによるセントル加温	面状発熱体によるセントル加温
工 法	セントル内側にテクヒーターを配置し、コンクリート打設前から型枠を30～35℃に温めておいて、脱型するまで同程度の温度で養生を行い、脱型強度の増進を図る（温度設定は任意に設定が可能）	面状発熱体（マグネットシート）を型枠内側に配置し脱型までの養生温度を、35℃程度に保ち脱型強度の促進を図る
概 略	 テクヒーター  テクヒーター取付状況	 面状発熱体  面状発熱体取付状況
品 質	打込み前から型枠を温めておくので、コンクリート温度や環境温度の影響が少ない。 30℃以上で加温養生を若齢時の圧縮強度が得られる	35～40℃で加温養生を行うので、若齢時の圧縮強度が得られ品質の向上が期待できる
施工性	工場で設置するので現場内での作業はない	
データ保存	積算温度システムと併用することにより、コンクリート打設中にモニタした数値のログをCSV形式ファイルに保存できる	
情報の共有	作業者、管理者他事務所の関係者にまでリアルタイムで情報共有ができる	
見える化	掲示板等のオプションを加えることにより見える化ができる	
安全性	電気で加温するため引火・酸欠の恐れなく作業環境は向上する。また水中ヒーターに規格を持ち、水漏れでの故障は発生しない	電気で加温するため引火や酸欠の恐れはない作業環境は改善する
省力化	給油手間もいらず省力化が図れる。また、自己出力制御により、気温の高い場合は、出力を自動で制御する	給油手間もいらず、省力化が図れる

写 真



セントル内部 写真-1



セントル内部 写真-2

ひび割れ発生防止 & 耐久性の向上 『EPSパネル養生』



特 徴

コンクリート表面からの発生熱を閉じ込め、養生温度・湿度を保ち初期強度発現を促し、ひび割れ発生防止、耐久性の向上を図ります。作業が簡単で他工法の養生に比べ安価で、主材はリサイクル可能で環境対策にも適しています。

施工手順

※以下に示す手順を繰り返して1スパン分の養生が完了



①脱型後、セントルを2m程度移動して支保材を周方向に仮設置

②脚部よりEPSパネルを建て込み、支保材をパネル中央の溝に設置

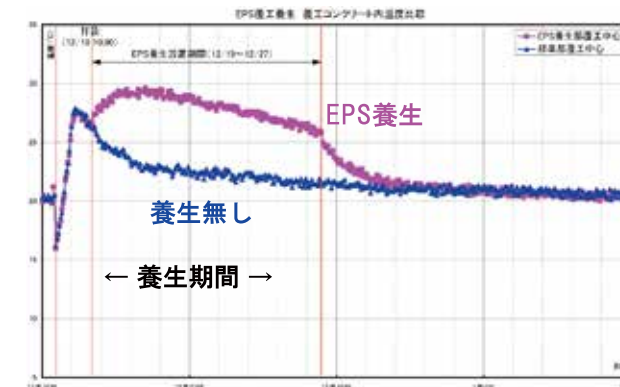
③天端用EPSパネルを建て込む

④支保調整材(棒ジャッキ)を伸ばしてEPSパネルを覆工面に密着

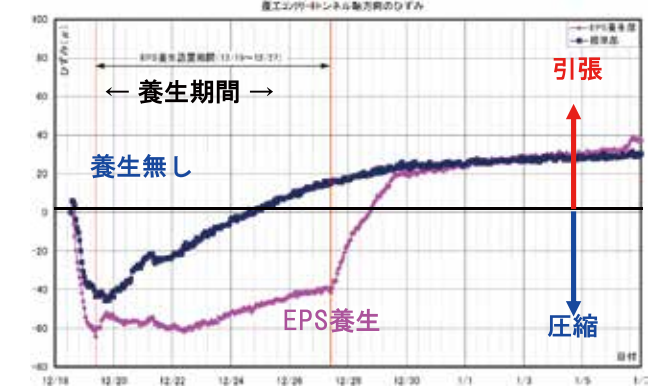
コンクリート温度・ひずみ測定

▽養生期間：脱枠時（打設20時間後）～材令7日まで

温度測定結果



ひずみ測定結果



▽コンクリート強度測定

シュミットハンマーテスト(28日)

	養生無し	EPS養生
反発度(平均)	33.8	36.3
推定強度 N/mm ²	24.9	28.1
強度比	1.0	1.13

弾性波レーダー(28日)

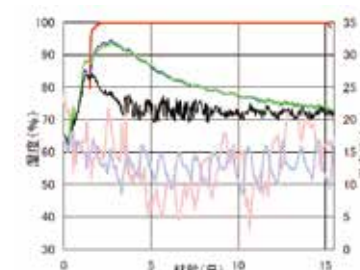
	養生無し	EPS養生
鋼球接触時間(平均)	215	180
接触時間比	1.0	0.84

接触時間小 → 弾性係数大

▽EPSパネル撤去後(湿潤状態)



▽EPSパネル養生 2週間計測データ



- 温度測定結果より、保温養生効果を確認。
- ひずみ測定結果より、養生期間中に引張りひずみが発生しないことを確認。
→若材令時(低強度時)の引張応力低減による初期ひび割れの低減。
- シュミットハンマーテスト(材令28日)の結果より、強度の増進を確認。
→保温・保湿養生の効果。
- 弾性波レーダーによる鋼球接触時間測定結果より、表層の硬さ(弾性係数)の増大を確認。
→表面の乾燥収縮ひび割れに対する抵抗性の増大

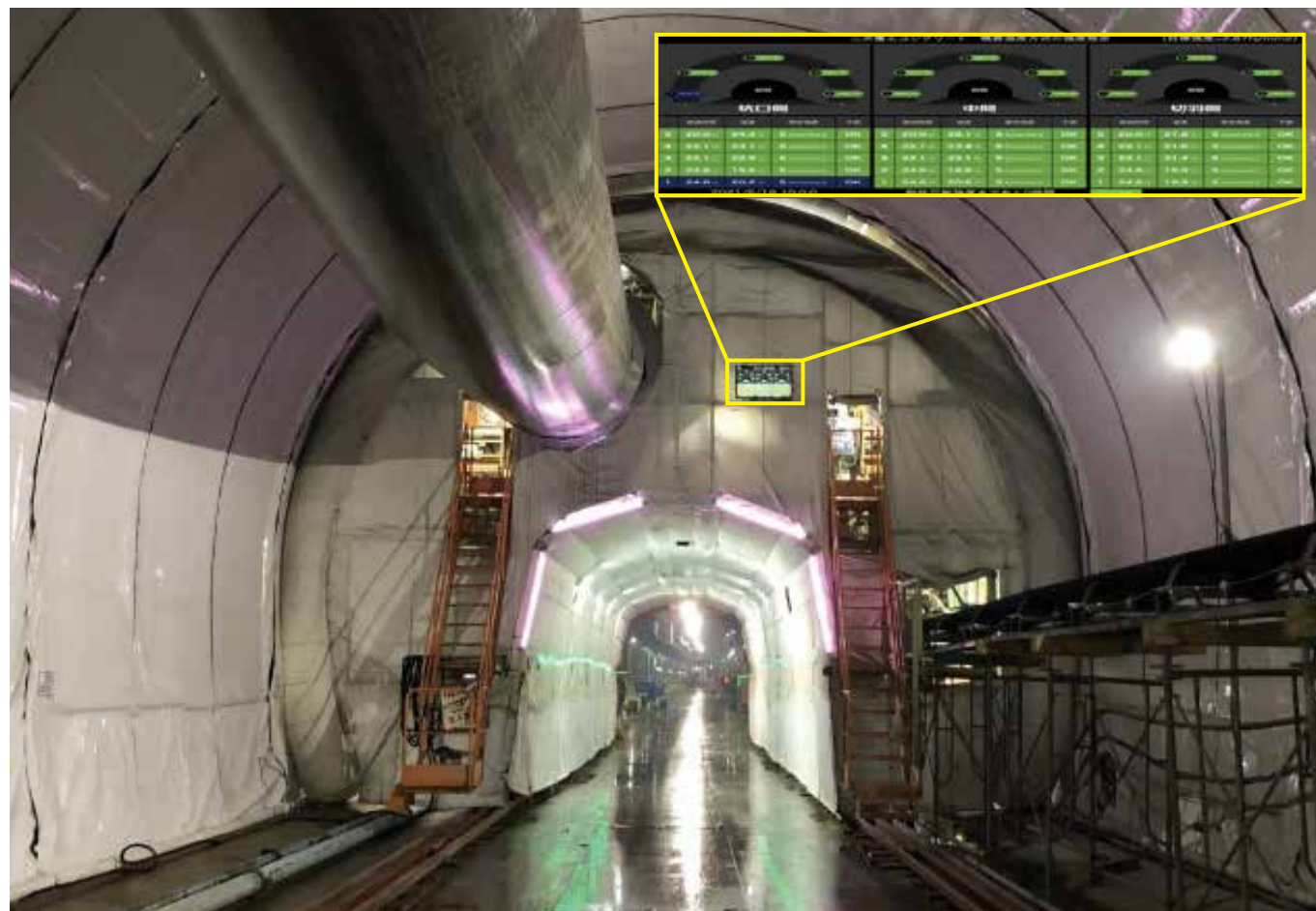
Concrete

高品質なコンクリートに挑む

特許出願中

覆工の省力化と高品質化 『スマートセントル』

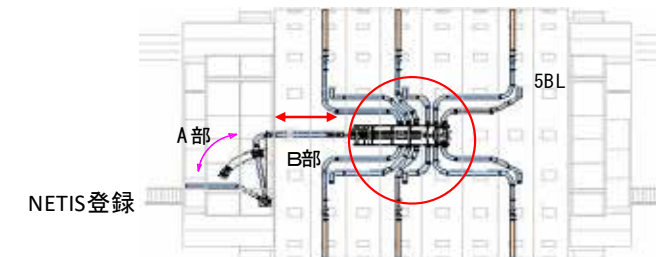
電光掲示盤



特徴 (5技術の集合体)

1. スパイダー打設システム
2. 型枠集中バイブレーターシステム
3. スターライトセンサーシステム
4. セントル加温制御システム (セントル養生バルーン)
5. パルストメーター、積算温度強度管理システム

1. スパイダー打設システム (NETIS KT-120099-A)



○部拡大図 分配装置) A部が稼働と連動しB部が移動する
スムーズな配管切替と左右同時水平打設が可能
配管切替作業の省力化と作業時間の短縮
コールドジョイントの発生を防止



2. 型枠集中バイブレーターシステム (NETIS KT-130066-A)



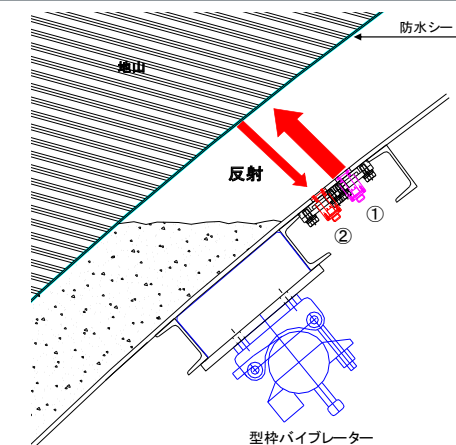
集中制御盤



型枠バイブレーター

複数 (50~70台) の型枠バイブレータの稼働を中央制御盤で一元管理
型枠バイブレータを同時に作動・停止させることで、打込み箇所のコンクリートを効率的に締め固め

3. スターライトセンサーシステム (NETIS KK-180021-A)



①LED照明



②照度センサー



セントル内部



セントル内部

セントル型枠表面の照度センサーとLED照明を使い、コンクリートの有無を判別
打設高さをリアルタイムに視覚化し、コンクリートの打ち重ね時間を管理
スターライトセンサーと型枠集中バイブレーターシステムの自動運転が可能

Concrete

高品質なコンクリートに挑む

特許第6478245号
NETIS登録 KK-180021-A

打設時の充填状況を、リアルタイムに監視できる 『スターライトセンサシステム』



打設中のモニター画面

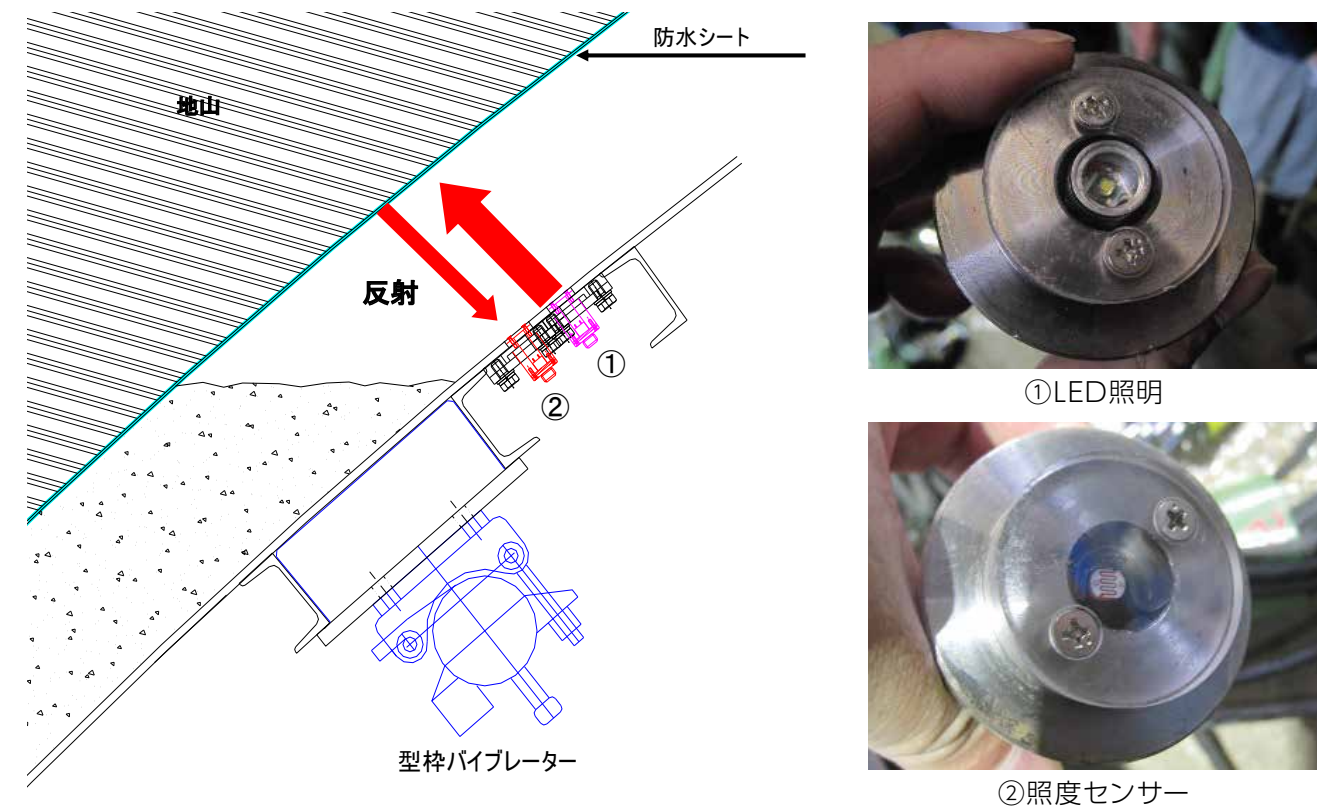
概要

LED照明と照度センサーがセット、照度センサーにコンクリートが到達した段階で打設位置を認識するセントル表面に複数のセンサーを設置する事で、打設状況が正確に管理できる

特徴

- 1、打設状況がリアルタイムでモニターで可視化
- 2、管理画面は、クラウドサーバーからPC、スマートフォンで確認が可能
- 3、セントル狭少部へLED照明（14～20Lx）の光で、明るくなり打設し易い

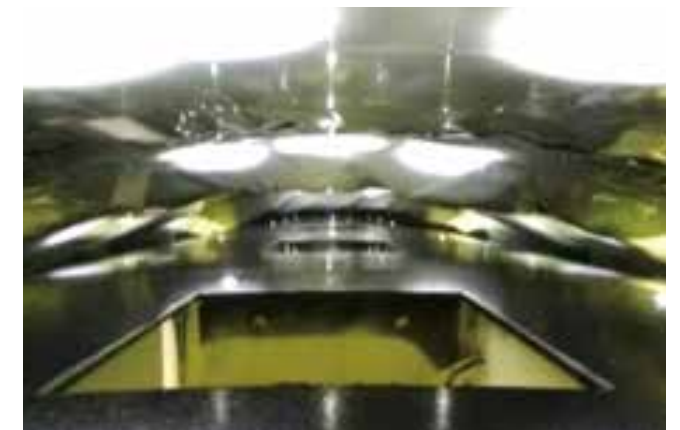
概要図



写真



セントル内部 写真-1



セントル内部 写真-2

特許出願中

ラップ側セット装置

『自動センター取得機能付き』



概要

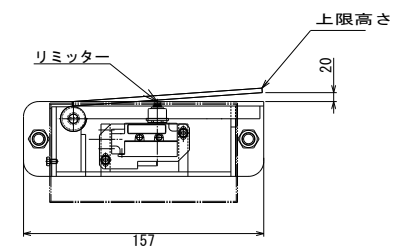
- ・ラップ側に特殊センサーを3ヶ設置（天端、天フォームの端部R側、L側）
センサーとジャッキ、横送り機能が連動し、センターを検出する

特徴

- 1、1人でラップ側センター・高さセット操作が可能（従来は、最低2名で作業）
- 2、押上クラック防止
- 3、操作が容易

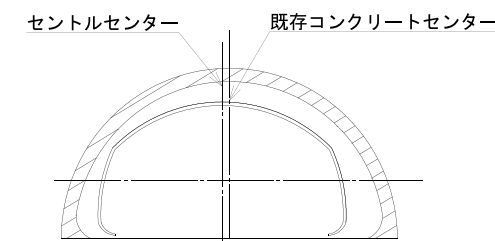
原理

- 1、特殊防止センサー
可動範囲（10～20mm）：10mmで検知
- 2、ラップ側ジャッキ左右2台を同時に上昇させ、
センサーが検知するとジャッキが停止
次に移動可能な方へ横送り装置が可動する
（R側が検知すると、横送り装置がL側の方へのみ可動）
- 3、R側、L側センサーが同時に検知（10mm）し、既存コンクリートのセンターが決まる

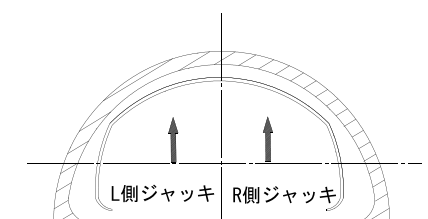


施工手順

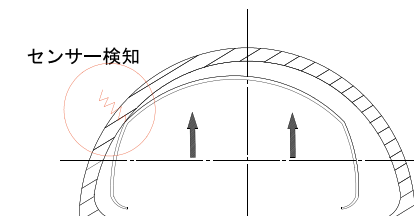
①セット前（セントルセンターが左側にズレている状況）



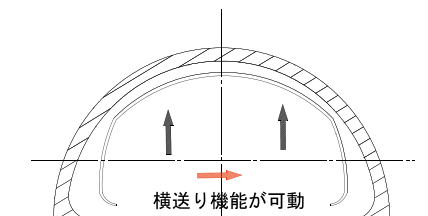
②セット開始（左右ジャッキ上昇）



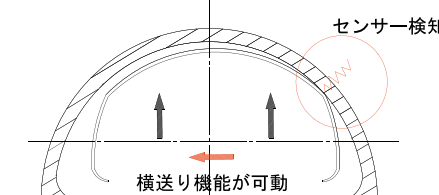
③セット中（L側センサー検知）



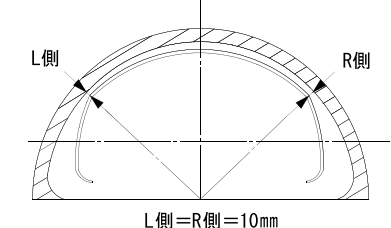
④セット中（横送りでR側へ移動、ジャッキ上昇連動）



⑤セット中（R側センサー検知、横送りでL側へ移動、ジャッキ上昇連動）



⑥センター一致



S e f t y e

安全な工事に挑む

特許第699088号

天フォームを安全に設置・解体 『天フォーム昇降台車』



特 徴

- 1、安全の確保
- 2、車両通行止めを最小限に抑える事が可能

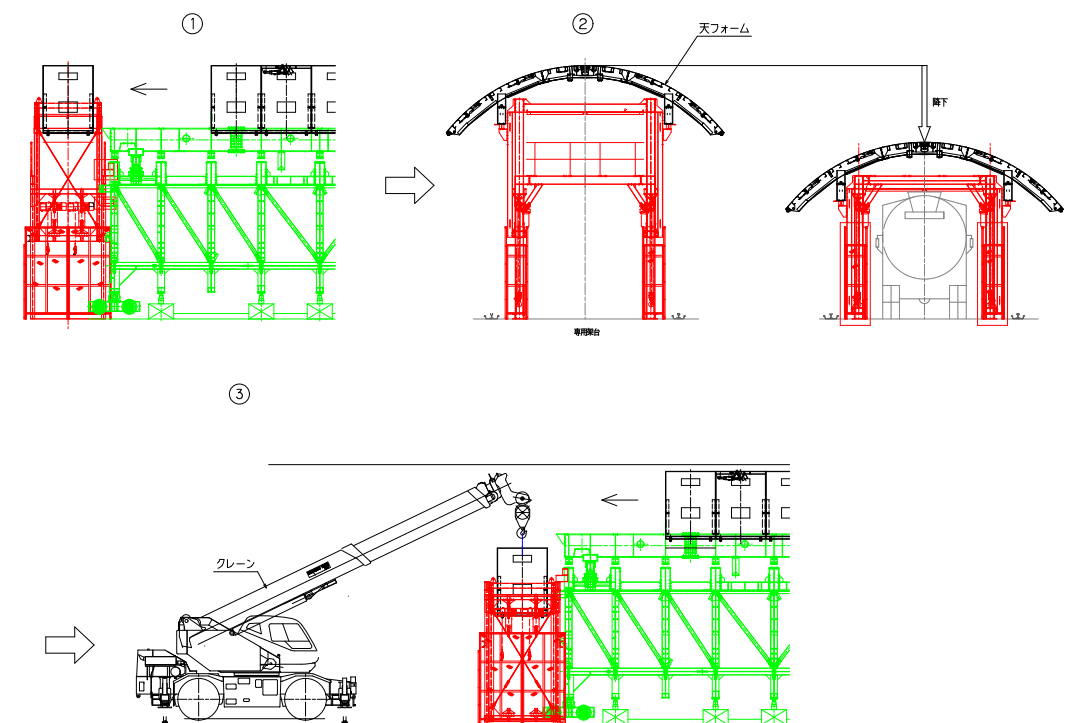
概 要

①セントラップ側へ専用架台を設置し、その架台に天フォームを移動させる

↓
②専用架台を下降させる

↓
③レッカーで天フォームを架台から撤去

概要図



写 真



専用架台昇降装置



レッカーにて天フォームを撤去



+ 日建レンタコムグループ

大栄工機株式会社

DAIEIKOUKI CO., LTD.

本社：〒526-0842 滋賀県長浜市春近町90番地 Tel:0749-64-0246 Fax:0749-63-6765
東京事務所：〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-7-1 TOHYUビル2F

<https://www.daieikouki.co.jp/>

2025年7月 第5版